

2010年 生理科学実験技術トレーニングコースのアンケート

受講者 146 名 (男性 98名 女性 48名)
アンケート回答者 140名 回答率 96% (全てネット経由にて回答)

参加者の身分 (%)

	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
学部学生	10	5	10	11	7	7	6
大学院生 (修士)	36	27	25	26	29	25	29
大学院生 (博士)	34	32	30	33	29	27	30
大学等の研究員 (ポスドク)	4	8	8	8	9	7	12
企業の研究者	6	9	7	7	7	11	9
国立研究所などの研究者	0	3	1	4	2	1	1
助手・講師	7	10	15	7	11	16	8
その他	3	6	4	3	6	5	4

※2006年以降は、参加者全体の統計。

1. このトレーニングコースを何で知りましたか? (複数回答可) (%)

	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
インターネット	30	35	38	30	38	29	29
雑誌等の広告	3	2	0	1	0	0	1
友人・知人・先生の紹介	61	69	61	66	64	70	69
ポスター	17	7	7	16	16	17	10
以前参加したことがある	9	13	13	13	13	5	9
その他	1	0	1	2	2	1	1

2. 参加動機は? (複数回答可) (%)

	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
自分の研究のレベル向上	76	81	81	80	84	86	89
新たな分野を研究したい	49	54	46	57	47	53	49
他の研究者との交流	37	41	37	40	36	41	37
生理研や総研大に興味があった	21	23	18	24	16	20	20
その他	2	2	3	3	4	1	1

3. インターネットを使った応募方法や電子メールによる連絡について (複数回答可) (%)

	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
便利でよかった	98	99	98	95	92	99	95
日頃メールを使わないので不便だった	0	0	0	3	0	0	3
やり方がわかりにくかった	1	1	1	0	2	7	1
連絡があまり来なくて心配だった	5	5	5	11	11	3	5
連絡が多すぎた	0	0	0	0	0	1	0

4. 受講料(10,200円)は? (%)

	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
高い	13	7	2	5	4	8	7
ちょうどいい	60	61	61	65	57	52	56
安い	25	31	38	30	39	41	37

5. ロッジを利用しましたか? (%)

	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
利用できた	18	15	28	25	20	16	19
希望したが利用できなかった	58	41	39	44	45	51	46
希望しなかった	23	44	34	30	35	33	34

6. トレーニングコースを利用するためにかかった交通費・宿泊費は？ (%)

	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
負担が大きい	21	21	15	8	19	9	15
これくらいはやむを得ない	69	66	71	81	64	76	69
大した負担ではない	9	13	15	11	16	15	16

7. 受講料・交通費・旅費の補助を、研究費・研究室・会社などから受けましたか？ (%)

	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
すべて自己負担	53	44	46	50	41	42
部分的に(およそ2/3まで)補助を受けた	15	10	11	11	16	14
ほとんど(およそ2/3以上)補助を受けた	32	46	43	39	43	44

8. 講演はいかがでしたか？ (複数回答可) (%)

	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
ためになった	53	69	65	66	71	73	74
面白かった	58	61	68	65	53	67	65
難しかった	31	34	29	9	32	29	22
興味がない分野で退屈だった	5	4	2	4	5	2	2
内容が簡単でつまらなかった	2	1	0	0	0	0	0
その他	3	4	7	3	9	3	4

9. 実習期間は？ (%)

	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
長い	5	2	2	6	5	4	1
ちょうどよい	64	81	83	70	74	76	74
短い	31	17	15	23	21	20	25

10. 実習内容 (%)

	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
大変満足	51	55	69	55	51	62	63
満足	42	40	28	40	43	34	34
まあまあ	5	5	2	5	5	4	2
少し不満	1	0	1	0	1	0	1
かなり不満	0	0	0	0	0	0	0

11. 交流会に関して (複数回答可) (%)

	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
研究所スタッフとの交流ができた	39	49	51	49	45	51	51
他の参加者との交流ができた	71	62	69	72	57	71	68
有意義だった	37	47	40	41	33	43	49
面白かった	30	36	36	31	27	33	36
時間の無駄だった	2	1	0	1	0	0	0
不参加	11	11	6	5	20	9	14

コメント

1. このトレーニングコースを何で知りましたか？（複数回答）

- 参加経験のある同僚から勧められた
- 生理学会誌

2. 参加動機は？

- 研究室見学
- スキルを身につけるため
- 業務上の必要性から
- トレーニングコースで学んだ技術を導入したい

8. 講演はいかがでしたか？（複数回答）

- 各研究室紹介についてもう少し時間を長く設定して頂いてもっと内容を聞きたかった。
- 専門用語が多かったのでわからない部分が多々あった。
- 部分的に面白かったが、大半が興味から外れていたので少し退屈だった
- 遅刻して聞き逃した
- 全部で5日しかないのに、1日が丸々講演で潰れるのは勿体ないと思った。
- トレーニングコースでの講演というのには趣旨が違ったと思う
- どれも興味があったのですが、初めて聞くお話は短時間で内容が多いと理解するのは難しかったです。

11. 実習の感想（コース別）

01. 「in vitro 発現系を用いたイオンチャネル・受容体の機能解析」

- 経験がないため一からの実習でしたが、分かりやすく教えていただけたので、参加して本当によかったです。実験手法を教えていただくだけでなく、練習する時間も多く確保されていたので、短期間で多くの経験ができました。
- 生理研のトレーニングコースには今回始めて参加させていただきましたが、人づてに聞いてイメージしていたよりも研究室のスタッフの方が親身に技術指導をしてくださり、一週間という短い時間の中でも非常に密度の濃い実習を受けることが出来ました。また、今回参加させていただいた内容だけでなく、生理研にある最新鋭の機器・実験手法なども見学させていただくことも出来、後学のためになりました。同じ部門に参加されていた方は複数回参加されているということで、私もまた是非参加したいと思える実習でした。
- 実際に現在の研究課題に非常に近い技術であったので、今後技術応用できるトレーニングとなりました。また先生方のぎっくばらんなキャラクターのおかげで気兼ねなくトレーニングに打ち込むことが出来ました。
- ほぼ初心者状態でしたが、非常に親切に、かつ分かりやすく教えていただきました。また、カリキュラムも大変濃密で、かつ実際に手を動かして実験をさせていただきました機会も多く、実習としてはとても充実していたと思います。勉強不足ということもあり、稚拙な質問を繰り返してしまいましたが、親切丁寧に教えていただきました。個々の希望する分野に関する実習時間を作っていただければ、さらに良かったかもしれませんが、それは求めすぎであるような気がします。（自分が希望すれば、多分かなえていただけたような気がします。）総じて、非常に有意義な期間を過ごさせていただきました。御多忙であるにもかかわらず、我々の実習に労力および貴重なお時間を費やしていただきましたスタッフの皆様に感謝申し上げます。この貴重な体験を今後に生かせるように努力していきたいと思えます。
- 少人数での実習だったので、疑問点をその場で解決できた。技術を身につけるにはとてもいい環境だった。
- 大変ためになった。
- まだいろいろ分からないところがあり今後も参加していきたい。
- 今後の研究活動の問題を考え直すきっかけができた。
- 研究者の方が親身になって実習に協力してくださり、実験技術の習得だけでなく、研究に纏わる多くの知見を積極的にご指導くださり、密度の濃い実習であったと感じています。

02. 「海馬神経初代培養とその解析法」

- 丁寧に教えてもらえた。参加者の人数もちょうどよかったと思う。実習中ずっと見てもらえて、いつでも質問できる環境もよかった。
- 短い期間ではありましたが、丁寧に説明して頂きました。特にdissectionにおいては、新しい技術を多く学ぶことができ、今後の研究に活かしていこうと思います。また、イメージングの技術についても学ぶことができ、自分が立証したいことを示す方法を学ぶことができました。この数日間で学んだことは、今後の研究生活に大きな助けになりました。また、期間中に出会った方々も皆様優しく、個性的で面白い方々でした。研究への考え方や姿勢など、多くのことを同うことができ、自分自身の考え方も変わったと思います。今回の実習だけでなく、これからも末永くお付き合いしていけたらと思っています。最後に、実習を立ち上げて下さった方々、お世話になったコースの研究室の方々に、感謝をしたいと思います。有り難うございました。
- 自分のラボで既に行っている技術を失敗なくできるよう、一から学ばせてもらおうと思い参加を決めました。一つのステップごとに丁寧に指導をしていただき、いつもとは違ったやり方も学べ、今後の研究にとっても役立っていくと思います。参加できて本当によかったです。

03. 「免疫電子顕微鏡法」

- レプリカ免疫電顕法を学びましたが、思った以上に素晴らしい技術だという印象を受けました。この技術を自分の研究に使いたいと強く思っています。
- 免疫電顕のコースを受講しました。担当の重本先生の教室では私が希望した、培養細胞の観察をルーチンに行っていないとのことでしたが、培養細胞での経験が豊富なほかの先生を紹介していただき、マンツーマンで丁寧に教えていただきました。私の所属する研究室でも機器等ほぼ同じセットアップがあるため、極めて実践的なトレーニングを受けることができ、大変充実した内容でした。指導していただいた先生方には貴重な時間の大部分を割いて指導していただき、感謝にたえません。ありがとうございました。

04. 「ジーンターゲットングマウス作製の基礎から応用へ」

- 興味があった分野であったが、なかなか実際に実験を経験することができないため、このような機会を得て大変貴重であった。講師の先生方も大変親切で、質問にも非常に丁寧に分かりやすく答えていただいた。人数や時間の関係もあり、体験したくてもできなかった実験もあったが、全体としては非常に役に立つ一週間であった。来年以降もぜひこういう実習を続けてほしい。
- 他のコースに比べて終わる時間が夕方と早く、トレーニングとしての時間としては短かったと思う。また、受講生に対する指導者の人数が少なすぎて、待ち時間がとても長かったので、もう少し効率よく実習をさせてほしかった。ただ、その待ち時間に質問できたので、その場ですぐ疑問解消になったのはとても良かった。
- 大変短い期間で、中身の濃い実習をさせていただき、どうもありがとうございました。期間が短いので、やっているのを見せてもらうだけで、自分の手を動かすことはあまりないと思っていたのですが、ノックアウトマウス作製に必要な技術を一通り経験させていただき、とても感謝しております。特にES細胞については、高校時代にES細胞を知ってから、いつか実際に扱ってみたいと思っていたのですが、大学院での研究は培養細胞のみで行っており、初代培養も培養にお金がかかるからという理由で行っていないので、ES細胞の培養となると、よほどお金がないとできず、特殊な技術や試薬が必要だと思っていました。しかし、実際に教えていただくと、フィーダー細胞の調製にマウスは必要ですが、道具も試薬も通常の培養細胞で用いるものと同じで、培養液も今、研究室にある試薬で作ることができそうだったので、ES細胞さえ手に入れたら、自分でもできそうだと感じました。今までは、とても無理だと思っていたのですが、何とかかなりそんなことがわかり、うれしくなりました。また、人数分マウスを用意していただき、採卵や胚移植のやり方を教えていただき、また、マイクロインジェクションもやらせていただき、どれも、本で見ながら、一度やってみたいと思っていたことで、大変よい経験になりました。ノックアウトマウスを用いた論文や、学会発表を聞くたびに、そのようなマウスを使えることを羨ましく思いつつも、全く手がでないとあきらめていたのですが、今回の実習で、自分の所属機関で何もできないわけではないことがわかったので、できないところは、うまく他の機関と共同して行えばいいので、最初からあきらめずに、できることを考えて、今後研究に取り組んでいきたいと思いました。
- 学部生が自分一人だったため、実習が始まる前はとても不安でしたが、基礎的なことから丁寧に教えていただき、非常に有意義な一週間となりました。本当にありがとうございました。
- 研究室の先生方およびスタッフの方々に常に面倒を見ていただいたため非常に濃い1週間を過ごすことができました。詳細な解説もしていただきましたし、実習全体を通して非常に分かりやすく吸収しやすい内容でした。先生やスタッフさんがまずお手本を見せてくださり、その後、自分たちの手で実際にやってみるという実習スタイルが非常に良かったです。今回の実習で学んだ技術をすぐさま自分の研究に取り入れるということは、設備や費用の面から見て難しいのですが、将来的に見れば非常にためになることを教わることができ良かったと考えています。学んだ技術を今すぐ実践できなくても、この一連の過程を知っているのと知らないのでは大きく違ってくると思います。遠方からの実費参加であったため、経済的には厳しい状況でしたが、得られることが大きかったので大いに満足しています。

05. 「パッチクランプ法」

- パッチクランプ法に関する知識・技術がほとんどない中での参加でしたが、準備されたテキストが非常に分かりやすく、また、指導いただく方も非常に丁寧だったので実習前と比較して多くのことを理解することができました。ディスカッションの時間も多く設けていただき、本当に有意義な時間でした。お世話になった先生方、ありがとうございました。
- パッチクランプの基礎が学べて良かった。パッチクランプは、初めてだったので、何度も失敗したが、スタッフに根気よく教えて戴き、たいへん満足している。また、自分の実験でパッチクランプのデータを探りたい時に、手伝っていただけることになったので、トレーニングコースに参加したかいいが良かったと思います。
- 一週間の実習で、内容の濃い時間を過ごすことができました。パッチクランプ法はなかなか、相談できる専門家が少なく、立ち上げるのに大変苦労していたときに、今回のトレーニングセミナーを紹介していただき、参加することができました。実際このようなトレーニングセミナーがなければ、縁故による指導しか受けられなかったと思います。一週間では短いと、はじめは考えておりましたが、逆に限られた時間をいかに有効に過ごすかを考え、質問しまくることができました。これまで、このアンプのダイアルなんなんだろうとちんぷんかんぷんだったことが、懇切丁寧な説明（同じ質問を繰り返したかもしれませんが・・・）で大変有意義でした。温度変化による電流の変化をこうやって測定しているんだと、非常にびっくりしました。接着細胞でのパッチという固定観念があった私にとって、リフティングは革新的でした。
- 機械の故障があり、実習前半は2日間で3回しか機械を操作することができなかつた。whole cellにするまでを自分で操作できるようになりたいと思っていたので、不満だったし、実習1日目は半日暇な時間となってしまったので時間をもったいないと感じた。後半の2日間は、他研究室で実習を受けることができ、何度か機械を操作させてもらえたのでうれしく思った。スタッフが多かったので、分からないことを質問しやすく、環境的にも良かった。データの解析の仕方や、波形から何が分かるのかを分かりやすく教えてもらえたので、勉強になった。
- 今回富永先生の教室でパッチクランプのトレーニングコースを受講しましたが、研究室のスタッフみなさんがほんとうに親切に教えて下さり、パッチクランプの方法や理論が分かっただけでなく、研究に対するモチベーションの向上という意味においても大変有意義な1週間でした。ありがとうございました。
- 基礎的なことから非常に丁寧かつ親切に根気よく教えていただいた。研究室の雰囲気も非常に良く、楽しく実習を続けることができた。あっという間に実習期間が終わり、もっと実習を続けたいと思った。
- パッチクランプ法は、まったく未経験でしたが、基礎から丁寧に教えていただき、とても勉強になりました。
- 専門的な知識を短期間で学べる機会で大変有意義な時間を過ごせたと感じています。
- 様々な分野の研究者の方達と実習を行えたことで、つながりも増やすことができ非常に有意義だった。また、ラボの方達もとても親切で初心者にも関わらず丁寧に教えてくださりとてもありがたかった。パッチクランプの手技だけでなく、解剖やパッチクランプの応用等幅広く教えてくださり非常にためになった。
- はじめは、当研究室で活かせるだけの技術を身につければいいという考えでしたが、実習に参加させていただいたことで様々なことを学ぶことができ、非常に勉強になりました。実習でご教授くださった先輩方、先生ありがとうございました。
- 先生方は、親切に指導して頂き、またこちらのリクエストにも、対応して頂き、大変満足しています。またいろいろな研究室の受講生と交流が特で、大いに刺激を受けました。先生方、本当にお疲れさまでした。
- 少人数で密に指導していただいた。パッチクランプという個人個人の実験でしたが、待ち時間にも、色々話が聞けたり、様々な見学に対応して貰えたりと、時間を有効に使用できたと思います。
- パッチクランプ法の富永研を希望していましたが抽選に外れてしまい、石橋研に配属されました。これは新たな領域の知識を得る、よい機会になったと思います。ホールセルパッチを学ぶことを目的としていましたが、穿孔パッチやDRGのパッチも体験することができ、予想以上の経験値を頂きました。丁寧に指導くださった皆様心から感謝いたします。直接ご指導くださったのは加藤先生と石川さんですが、最終日にしっかりとお礼を申し上げる時間がとれなかったことが心残りです。本当にありがとうございました。素晴らしい一週間でした。思い出に頂いたチャートは、一生の宝です。私も生理学研究所で研究したいなと感じました。
- 何よりも、先生方の面倒見の良さに感謝しています。経験も知識もありませんでしたが、パッチクランプの基礎から優しく教えていただけたので、今後の研究に向けて勉強を進める際の土台を築くことができました。自分でとったデータと一緒にディスカッションできたことも、とても嬉しいです。ありがとうございました。また、パッチクランプコースの中でもいくつかの班を作るのは、良いアイデアだと思います。特に興味のある分野を勉強でき、現場の雰囲気や考え方を掴むことができるからです。しかし、志望の班に参加することができなかった人がいたことが残念です。事前に班を分けておいたり、班ごとの達成目標を示しておいたら、心や勉強の準備ができたかな、と思います。
- 大学での雑務や家事から解放されてのトレーニングコースはとても貴重で楽しい幸せな時間でした。これまで経験がないものの、チャネルの解析のためにパッチクランプ法を理解する必要性に迫られていたのですが、数年間コースのスケジュールを眺めながら、諸処の事情でエントリーできなかったのが、今年は貴重な機会を得ました。一週間、自分の手でホールセル記録を行うことで生理学的なものとのらえ方を少し理解できたように感じています。原理や解釈はまだですが、今後の糧となる経験をさせていただいたこと心から感謝しています。ありがとうございました。大変お忙しい中コースの運営にご尽力下さった先生方や職員の方々、多くの時間を一緒にさ

せていただいた富永研の皆様にご感謝申し上げます。今後さらに研究を進展させるべく貴重なご縁を大切に、また研究を共有し楽しむことのできる共同研究者として繋げていくことができれば幸いです。生理学研究所のますますのご発展をお祈りしております。

- アンケート遅れてしまい非常に申し訳ありません。遅くなりましたが送らせていただいています。実習はとても有意義なものであり、かつパッチクランプという技術がしっかりと後継されていくことを願いますのでまたこのトレーニングコースが開かれることを希望しています。
- 全くの素人で受講させていただきましたが、スタッフの丁寧なご指導で一通りの手技と知識を習得することが出来ました。的外れな質問や、他の実験に関する質問などに対しても非常に丁寧に対応していただき、実習以外の点において参考になることが多かったです。
- 研究室の方がみなさん好意的で、なおかつオープンで大変感謝しています。実験室の機材や実験のプロトコルも撮影させて頂き、今後の自分の実験の参考になりました。社会に開かれた研究所を目指していってほしいなと感じました。見習っていききたいと思います。

06-1. 「スライスパッチクランプ法」

- この5日間の実習は大変自分のためになったと思います。この実習の良さは、教科書とにらめっこしてもわからなかったことが実習に参加したこの短期間でわかるようになったことにあると思います。特に電気生理の論文は専門的な操作を行っており、実験操作の意図がわからないことが本当に多いと思います。また、学生の中には理解した気持ちになっているという理由から、それ以上の知的進歩に至らない場合も多いと思います。私は実際目で見て実験操作に触れることにより、基本から技術を身につけていくことができ、大変勉強になったと思います。この実習を受け、私がすべて一人で実験の系を組めるというレベルに達していませんが、今まで0%だった実践的な知識が10%くらいにはなったと思います。これをどんどん自分で増やしていこうというやる気にもつながりました。本当に感謝しています。
- いろいろ教えていただいて勉強になった。ほかの受講者ともお互いの研究内容を話し合うなど有意義な意見交換ができた。
- 普段自分の研究室で行っている様々な工程がにおいて、違ったやり方やよい方法などを知ることができた。パッチクランプにおいても初めて行う技術であったが、初歩から細かいコツまで含めて教えていただいたので、自分の研究室へ戻ってもできるよう、練習したいと思う。
- 担当してくださった先生方がとても親切にご指導していただき、大変勉強になりました。
- 今回の実習で得るものは多く、とても勉強になりました。トレーニングに参加できて本当に良かったと思っています。
- 技術習得のために来ましたが、普段使わない部位の知識も得られて大変満足でした。
- きわめて実践的でよかったと思いますが、技術そのものの理論的な話が少し乏しかったような気がします。従って自分の研究室に戻って一からシステムを立ち上げた時、トレーニングコースでは見舞われなかったトラブルなどに遭遇し、「こんなはずではなかった・・・」と苦労することがあるのではないかと思います。これらの対処法は経験によって培われるものであると思いますので、短期間のトレーニングコースではやむを得ないとは思っています。ただスタッフの方が「何か問題が生じた時にはいつでもご質問下さい」と声をかけて頂いたので非常に心強くは感じています。

06-2. 「In vivo パッチクランプ法」

- これからの研究生活に向けて、未来が拓けてモチベーションが上がる内容だった。やはり実験は、手技が安定している人に教わるのが一番の近道であると思いました。
- 脊髄の in vivo patch の手術方法やパッチの基本的テクニックなど大変参考になりました。ありがとうございました。
- 実際に手を動かす時間が、もう少し多ければよかったと感じた。ただ、評価系がどういうものであるかを理解するためには、自分だけではなく、他の人が実験するのを見る必要があると思うので、そういう点からは非常に参考になった。
- 実習内容の分野、実験技術に初心者の人にもわかりやすいように、丁寧にご指導いただけたことは非常に良かったし大変助かりました。毎年のごとで慣れていらっしゃるのだと思いますが、指導者の先生はじめ、学生の方達も親切に教えて下さり、感謝しています。気軽に何でも質問できるような雰囲気でしたし、他の実習生の方達とも色々情報交換などできたので、有意義な時間だったと思います。ただ、私が参加した実習では一台の装置で4人が交代で実験するという制限から、実際に自分で手を動かして実験できたのが1日くらいで、全く経験のない人が学ぶにはもう少し時間が必要だと思いました。

07. 「ゼブラフィッシュを用いた神経回路機能の解析」

- 普段の研究とは違う種類の実験手法を経験できたことは非常に有意義だった。初心者にも懇切丁寧に教えてくださったスタッフの方々に感謝したい。
- 先生に申し訳ないくらいつきっきりで指導していただけて、とてもありがたかったです。
- 論文などでしか読むことのできなかつた光生理学的なニューロンの活動制御を、実際に目にする事が出来非常に有意義だった。
- 先生方がとても親切に教えて下さってとても勉強になりました。また、来年も参加したいと思いました。

08. 「摂食・飲水行動発現機構入門」

- とにかく毎日が目から鱗の連続でとても有意義だった。何より、技術を習得して帰ってほしいという考えで、実習を行ってくれたので手を動かすことが多くいい経験になった。自分の研究テーマにおいてどのように今後この技術を生かしていくかということに関しても、親身になって相談に乗ってくれたので、今後の研究イメージが非常に膨らんだ。このコースに参加できて本当によかった。
- これまで脳を扱うような実験をしていなかったの、どの技術も新しいことばかりでしたが、非常に丁寧に教えていただいたので、わかりやすかったです。マウスの扱いなどの基本的なことに関して、普段気にとめないような細かなところまで注意を受けたので、これから戻って、自分の実験を見直すときに、非常に役に立つと思います。
- 質問、疑問点などはわかりやすく説明してもらい、有意義な時間を過ごす事ができました。細かい技術まで教わることができ、このトレーニングコースを受講してよかったと感じています。
- まさに、「トレーニングコース」という内容で、大変満足しています。他のコースを受けた友人の話を知ると、「広く、浅く。研究室に戻ってからできるかと聞かれれば、できないと思う」ということで、それでは「トレーニングコース」ではなくて講義・講習会と変わらないと思う。私の受講したコースでは、基本的な技術をしっかりと習得できるよう、繰り返しトレーニングをすることができたのがよかった。研究室に戻ってからも、この新しく学んだ技術を生かした研究をすることができると思う。そして、ただテキスト通りの内容を行うのではなく、講師の先生方が参加者それぞれの研究内容に合わせてアドバイスをしていただいたことも非常によかった。普通の会話のなかで話される情報が、非常に参考になった。

09. 「麻酔動物での電気生理実験」

- 実習の期間が短すぎる。実質2日間しかない。
- 異なる分野の内容だったので、難しかったが、非常にスタッフの方々丁寧に教えていただいたので、自分なりに分かりやすかったです。ご指導していただいた先生方には感謝しています。
- LFP レコーディングについては期待通りであったが、以外にも Preparation について学ぶことが大変多く満足であった。
- 大変興味深いお話を聞けて、新たな実験系を行っていくうえで助けとなりました。

10. 「慢性動物実験法入門」

- ただ、技術を教えるだけでなく、自身の実験に直接生かせるようなアドバイスを多数いただいた点が非常によかった。
- 応募する段階で実習内容を詳しく知りたかった。去年とあまり変わっていなかったため先輩が勉強したノウハウとは別のノウハウをあまり学習できなかった。
- こちらの素人同然の質問にも丁寧に回答していただき、細かい指導も行なっていただきました。大変勉強になりました。感謝しております。
- 慢性実験による生のデータをリアルタイムに観察できて良かった。データがどのように取れるのかわかり、データ解析をする上でのイメージはしやすくなったと思います。
- 参加人数と時間の関係上、観察している時間が大半だったので、できればもう少し実際に自分の手を動かして実験に参加できればと思いました。
- 余裕のある時間スケジュールで集中して受講することができた。内容も幅広く学べて充実した1週間となった。
- 新規方法を研究室に帰って導入できるだろうとの自信を得た。これは3日位の実習があったからこそで、ちょっと1日見学させてもらうだけではこうは思えなかっただろう。

11. 「視覚の脳内メカニズムの実験的解析」

- 自分は学部生なのですが他の参加者の方々とは比べ不勉強なのをやはり痛感いたしました。講義などでも基本的なことが抜け落ちているために理解できなかったりということがしばしばありました。恥をしのんでもっと積極的にたくさん質問しておけばよかったなあといまでは少し反省しております。とはいえ、トレーニングコースを通じて多くのことを学びましたし、今後自分で勉強する指針のようなものが立ちやすくなりました。自分は計算論的なアプローチに興味があったのですが、それをする上でも、解剖学的な知識やデータが必要になるということがわかり、また、計算論の有名な本も紹介していただいたりもしてとてもためになりました。また、マトラボの基礎的な講義をしていただきとても勉強になりました。簡単な心理学実験もやらせていただき、(じつは心理学の実験をしたのは初めてでした)とても興味深く、楽しかったです。また、動物実験に関する講義もとてもためになりました。動物実験に関する倫理問題は今後研究をする上でとても重要な問題だと思っております。先生方や院生の方々もとても優しく、丁寧に教えてくださいましたし、ラボのあたたかい雰囲気にとっても癒されました。そしてなにより他の参加者の方々との交流ができたということが大きかったと思います。様々なバックグラウンドの方がいらっしやって刺激を受けましたし、みなさん本当にいろいろな知識を持っていらっしやって、鋭い質問が飛び交い、今後勉強する上でのモチベーションになりました。そして、今後脳科学を勉強するうえでも「仲間」の存在を感じることができるといのは非常に心強いことだと思っております。もう少しきちんと神経科学や生理学や計算論の勉強をして、自分で研究もして、成長した上でもういちどこのコースに参加したら、また違った面白さや発見があるのだろうと思います。

- 普段の研究では体験することができない、貴重な経験をすることができました。また、大学ではなく、研究所という場所での研究の仕方を垣間見ることができ、大変勉強になりました。実験デザインやデータの質など、勉強になることがたくさんあり、参加して良かったと思いました。今後、この経験を研究に生かしたいと思います。
- 自分にとって、初めて聞く話が多かった点が、とてもよかったです。特に、サルの電気生理は、論文内で読んでいただけであったので、実際に行うときにどんな苦労があるのか、注意すべき点は何なのか、サルをもちいた実験でこそできることという利点と、そこから得られる見識の解釈についての理解ができたことが、今後の研究において、必ず役に立つと感じました。
- 大変おもしろかったです。
- 実習の内容自体は非常にためになる物ばかりで、いい勉強をさせていただけだと思います。ただ、実習の順番が、実験見学→実験内容の説明→受講者の研究紹介、といった順になっていたのですが、受講者同士の親睦を深めるイベントは最初にあった方がよいですし、実験見学自体はその実験がどういった目的で行われているのを知ってから行った方が身になるのではないかと思います。ですので、受講者の研究紹介→実験内容の説明→実験見学にした方がよかったですのではないのでしょうか？
- さまざまなトピックをお聞きするだけでなく、見学・体験でき、とても興味深かったです。当初は座学的な、視覚の基礎講座のようなものを想像していたのですが、今回のプログラムは実際に行われているさまざまな研究に触れることができ、より実践的な内容だったと感じました。私の当初の期待とは違っていたのですが、実際の研究室の雰囲気も感じることができ、楽しく過ごしました。スタッフの皆様も大変暖かく迎えていただき、感激しました。

12. 「脳磁図によるヒト脳機能研究の基礎」

- 自分のやりたい実験を自由にやらせてもらったのでとても満足で有意義な実験でした。講義の量はちょうどよかったです。最初にMEGの紹介的な講義、実習後に、機材の仕組みや具体的な研究紹介という順だと、より理解が深まったと思います。とにかく楽しかったです。ありがとうございました。
- MEGを用いて実験する時の注意点やタスクの工夫、どんなタスクがMEGには向いているかなど、教科書には書いていないが実際に実験を行う時には非常に重要なことを、講習中に自分で実験を行いながら学ぶことができた。時間を自由に使わせていただけたおかげで、一人一人の興味やレベルにあった知識を得て理解することができたと思う。先生方や参加者のみなさんとも交流でき、今後の研究のために非常に有益な体験ができた。
- 何よりも感謝です。非常に献身的に我々のために時間を費やしていただきありがとうございます。受講前より、メール連絡をくださり、我々のために準備してくださったことなど、大変助かりました。実質、3.5日という限られた時間の中では充実した時間を過ごすことができました。また私自身、不勉強を感じ、少し申し訳ない気持ちももったいない気持ちがあります。今後の研究や教育に直接的、間接的に繋がるいい経験をさせていただきましました。改めましてありがとうございました。
- 全くの初心者でしたが、基礎的な部分から丁寧に指導していただき非常に勉強になりました。理論面は講義で、あとは実際に装置を使いながら操作法や装置の特徴を理解していくところがよかったです。参加者が希望した実験を行う時間も、予想との相違の原因や実験計画の問題点に気づくことができました。研究室の先生方も参加者の方々も様々な経歴の人たちが集まっており、他の分野の研究について触れられたこともいい経験になりました。
- 予想以上に質が高く、大変勉強になりました。学生と指導者の人数比も理想的です。限られた時間の中で最大の効果が出るように考えて下さっていたと思います。本当に有り難うございました。
- 回答が遅れまして申し訳ありません。脳磁図について、右も左も分からない初心者でしたが、先生方の丁寧なご指導により、非常に有意義な時間を過ごさせて頂きました。自分の希望していた実験を行うにあたりましては、親身になってアドバイスして頂き、とても感謝しております。また、異分野の研究をされている他の参加者の方とお話することで、知見が広がり、コースを通して、成長出来た気がしました。またこのような機会がありましたら、是非参加したいと思います。

13. 「ヒト脳機能マッピングにおけるデータ解析入門」

- 大変わかり易く丁寧な講義で満足しています。周りのスタッフの方も親切に教えていただいて勉強になりました。
- 通常では、こういった研究に直接必要としているツールの習得は簡単には行えないので、料金は安価で、しかも公開性で親切的な指導で行ってもらえるトレーニングコースは非常に少ないと思います。なかなか普段こういった機会がないので、非常に役に立つトレーニングに参加できたと思っています。
- チューターがついてくださったので安心できました。デモ画面が次から次へと切り替わるので、どの部分を押すとか口頭だけではなく、絵があればよかったです。レンタサイクルをしそうになったので、駅から坂道である情報があればさらによかったです。
- 講義の内容がとても工夫されていて、様々なレベルの参加者を満足させるものだったと思う。基礎から教えていただいたので、振り返るいい機会になった。
- 基本的な内容から少し応用のレベルまで、ちょうどいいバランスだったと思います。今まで理解できていなかった理論の部分も丁寧に教えてくださり、大変勉強になりました。
- 初めて、知識のない状態で参加したため、ついていけずに戸惑うことが多かったように思います。ただ、集中して教えて頂いたため、

普通では考えられないスピードで概観をつかむことはできたと思います。このように、親切かつフレンドリーな雰囲気の中、5日間過ごせたことはとてもしあわせなことだったと思います。ありがとうございました。

- バックグラウンドをはじめとして基礎的な部分を学べて、たいへん勉強になった。統計分析も詳しいところまでやってくれて、興味深かった。実習の操作の進行が若干遅く、思ったほど進めていない気がした。
- 統計の知識がないと理解できない部分というのが多かった気がします。でも fMRI 解析のおおまかのノウハウは持ち帰ることができそうなのでよかったです。研究に大いに生かしたいと思う
- はじめて SPM に触ったのでついていくのが大変でしたがおかげさまで何とか最後まで操作できありがとうございました。チューターの方がわかりやすく教えていただいたので助かりました。
- Matlab 初心者にとって大変ためになる講義・実習でした。
- SPM を使い始めて、原理などが分からずに使っていたために、今回の実習は今後の研究に向けて、非常にためになった。今回学んだことを周囲の人に広めていこうと思っている。
- 今まで所属していた研究室が全て放任主義で、今回のように研究に関する講義を受ける機会という物が存在しなかった為、非常に貴重な体験だった。折角の機会と、ひっきりなしに質問をさせて頂いたが、嫌な顔せず、全て納得がいくまで説明をして頂くことが出来、とても価値のある1週間となりました。
- 有意義な時間が過ごせました。非日常的な時間・場面を設定しないとなかなかまとまって勉強する機会が得にくい状況にあるので(院生なのに?!)。内容も充実していました。ただ、SPM という解析ソフト自体はじめて見た(結果としての画像はもちろん見たことはありますが)ので、画面にあるボタンのひとつひとつの意味(機能)についての解説が簡単にあるとよかったかな、と思いました。学生の立場に立つことができたこと(普段は講師もしているので)も、とても参考になりました。ありがとうございました。
- まったくの初心者でしたので、最初から丁寧に教えていただき苦手意識がなくなりました。
- 非常に内容は難しかったですが、日に日にできることが増えてきて有意義でした。今まで、マニュアル通りにクリックだけしたことはありましたが、その作業の意義がわかり(全部ではありませんが)解析のレベルがアップしたという実感があります。また、最先端の研究をされている先生方から直接、御指導いただき、どのように物事を考えていくと良いのかということも学べました。
- Matlab 初心者だったのですが、最初から丁寧に講義していただき、非常に勉強になりました。トレーニングコース終了後に復習するため、講義内容の資料を全部頂けるとよかったです。
- 多くのスタッフの方々のお陰で、どうにか脱落することなくコースを終了することが出来ました。グループごとにチューターが2名もついて頂き、コンピューター作業が苦手な私にとっては、すぐに質問できる体制で大変助かりました。自分の大学には fMRI がないので、是非、生理研で研究させて頂きたいです!
- 講師の先生方や、チューターの方々が丁寧に教えてくれたので、焦ることなく最後までたどり着くことができ、実習をスムーズに進めることができ、とても勉強になりました。
- スキルの向上に大変役に立った。
- 新しい分野での研究への一歩としてトレーニングコースに参加しました。そのため講義は難しかったですが、講師の方々のサポートにより教えて頂いた基礎的な部分はある程度理解ができたと思います。今は教えて頂いたことをそのまま受け止めるだけで精一杯ですが、教えて頂いたことを土台として実験に取り組み理解を深めていきたいと思っています。
- 何も知識がない状態からのスタートだったので、不安でしたが、チューターの方がたくさんいらっしゃって、質問がしやすく助かりました。講義もわかりやすく、非常にためになりました。
- 今回はじめて SPM での解析を勉強したが、わからない部分を丁寧に教えてもらい、基礎的な理解は大まかにではあるが身につけられたと思う。実習の時間を多く設けていただき、実際に解析しながら理解を進めることができたのが非常に良かった。
- 今まで知りたかった内容を知ることができたので大変に感謝しております。オフィシャルな懇親会の他にこのコースの交流会もあり、同じ志を持つ仲間と知り合うことができたこともとてもよかったです。講義内容に関しては、日程の都合もあったかと思いますが、もう少しゆっくりと理解したいという印象を受けました。
- 原理的な内容もあり理解するのが難しかったが、勉強するために教材などの紹介もあったので、現場に戻って復習と理解を深めるための勉強をしようと思った。
- 今回の講習では、理論と実践それぞれを丁寧に指導していただき大変勉強になりました。パッケージされたソフトウェアを使用する上で、背景にある理論を知っておくことで、SPM よりが汎用性の高いツールになったと感じます。研究室の先生方やチューターの方々も、自身の経験等を交え、より実践的で研究に直結するアドバイス指導をしてくださいました。1週間大変お世話になりました。ありがとうございました。
- まったくの spm 初級者でしたが、講師の先生方をはじめ、チューターの方々がひとつひとつ丁寧に教えていただき、なんとかついていくことができました。実習は大変有意義で自分の今後の研究が大きく飛躍する可能性が出てきたと感じています。本コースで得た技術を今後は是非いかしていきたいと思っています。
- ためになった。実践的であり、その背景まで細かく教えていただき、よかったです。
- 当初は、基礎的なことだけと聞いていたので、参考書を読めば分かる程度の内容なのかと思っていましたが、基礎こそ大切なのだと分

かりましたし、個々の処理の意味も理解できましたので、大変有意義な時間を過ごすことができました。先生方の説明も大変分かりやすかったです。無理なのでしょうが、講義に使用したプレゼン資料全部欲しかったです。

- SPM 操作マニュアルが丁寧でわかりやすかったです。統計の講義は内容も配布資料もわかりやすく、今後の学習のとっかかりができて非常にためになった。最初の MRI の原理に関する講義にはもう少し時間を費やしてほしかった。また、講義スライドをもとにした配布資料がほしかった。
- 実際の実習よりももう少し講義の時間を増やしていただきたいと思いました。spm の操作は、マニュアルがあるので、後からでもできるようになると思うのですが、統計の処理のところをもう少し講義していただきたいと思いました。一般線形モデルの所が、まだ不安です。
- ソフトは、クリックさえすれば先に進めるものですが、その際に何をしているのか、どういった意味があるのかを学べたことに満足しています。全般にわかりやすくゆっくりと進んでいただいたので、理解も追いつくことができ、安心して学ぶことができました。アシスタントの方も知識が豊富で、質問にも次々に答えてくださったので有意義な時間をすごせました。
- 初めて SPM に触れてみて、ボタンをクリックするのは簡単であるけれども、その背景にある理論は、かなり難しいのだなと分かった。スクリーンに提示されたパソコンの画面で MatLab や SPM の小技を見せてもらえるのが、とても興味深かった。
- SPM について基本的な事から詳しく教えていただいて大変参考になりました。また、個別に質問した時も丁寧に教えていただけたので各班に担当者がいるのがよかったです。
- 全くいままで触れたことのない分野だったために最初は仕組みを理解するのに時間がかかった。講義中に質問の機会などが与えられたがあまりに初歩的な内容のために少し聞きにくいときがあった。事前学習としてある程度課題をだしてもらえるともう少し理解しながら講義が聞けたかもしれない。
- まったくの素人でしたが、講師の先生やチューターの方が親切に教えてくださったので、安心して講習を受けることができました。内容については、統計がやはり難しかった（自分が統計に疎いせいですが）。もうすこし操作を覚えられるように、何度も同じ操作を繰り返すような内容だと良かったかも。参加者のレベルに差があることを考えると、よく考えられたすばらしい講習内容だったと思う。
- 大変丁寧に教えていただき、非常に有意義でした。コースや班雰囲気も良く、大変刺激になりました。
- 手法の基礎理論から実際のノウハウまで網羅しており非常に実際的な実習だと感じました。チューターの方も初歩的なものから応用的なものまで様々な質問に丁寧に答えていただき本当にありがとうございました。ただ、参加者のペースに違いがあるため難しいところですが、もう少し、講義が長く実習が短い構成でもよいかと思いました。今後も機会があれば参加したいと思います。
- ボタン押しの作業も事前にプリントなどで自習できれば、実習がよりスムーズになると思いました。アドバンスコースも1週間ほど集中的講義があれば是非希望したいと思います。
- はじめはついていけるか心配でしたが、大変丁寧に説明して頂きとても勉強になりました。個人的には、内容がとても盛りだくさんなので、もう少し期間を長くするか、内容を少し減らして実施するかの方が、理解不足が減るかなと思いました。
- 実習内容は難しい点もありましたが、先生方が大変丁寧に説明してくださったので、とても楽しく学ぶことができました。基礎的な質問もしやすかったです。
- 非常に役に立ちました。スタッフの皆様も丁寧に教えていただき感謝しております。
- 講師、チューターの方が熱心で、説明がわかりやすく、今回持ち帰った知識がスムーズに習得できました。また、講義内容もシステマティックにくまれており、理解がしやすかったです。また、日ごろ疑問に思っていることや、受講した分野の内容を私の分野に持ち込んだ場合にどのようなことをすればエキサイティングなことができそうかななどの議論もさせていただき、今後の研究の方向付けの生かせそうです。
- すでに SPM2 を使用していたため、まったくの初心者よりは講義の内容を理解できたとは思いますが、それでも統計学の基礎知識の不足からか、SPM の原理の理解には苦労した。実習自体は、チューターの方々の細やかな助けのおかげで、自分がしている作業についてはあまり苦労しなかったものの、スライドを通して説明されている内容とのずれに戸惑うことも多く、とりこぼした Tips があったような気がしてならない。とはいえ、全体としては大変満足できた。可能ならば数度参加したいところ。
- ほとんど初心者だったので周囲とのレベルの差を感じました。もっと予習をしておくべきだと思いました。しかし簡単な質問でもチューターの方は熱心に丁寧に教えていただいたのでこちらもリラックスして講義を受けることができました。参加者はもちろん、トレーニングを行うために先生方が真剣に取り組んでいるのが伝わってこちらもやる気を引き上げられました。とても有意義な期間であったと思います。
- 実習に臨み、持参するパソコンの機種が変更となり、操作過程で処理能力の問題でトラブルが多くあったり、事前に SPM8 を操作したことがないため、課題をこなすことに精一杯でしたが、チューターの方が丁寧に操作方法や操作過程の意味を説明してくださったので、実習に何とかついていくことができました。講義では、データ処理の工程が図示されており、今、どのような作業を行っているのか大変わかりやすく、実習に役立った。できれば、個人の到達度にあわせて時間外に学習できればありがたいと思います。
- 非常に内容が濃く、勉強になりました。ありがとうございました。
- 講義等本当に勉強になりました。ありがとうございました。参加した初日は何も分からず不安でしたが、生理研の先生たちに質問をして教えていただきました。皆さん親切かつ丁寧に本当に感謝しています。疑問点は解決して今後の研究に生かしていけたらと考えていま

す。本当にありがとうございました。

- チューターの方々も親切かつ丁寧に教えてくれて助かりました。講義もわかりやすく、質問しやすい雰囲気で行われていたと思います。
- 自身のこれまでの解析手法がいかに稚拙でアバウトなものだったのかを、思い知らされました。今回の経験により、fMRI、SPMの勉強をより一層に力を入れていかなければならない、と痛感させられました。そして、チューターの方々の熱意とその知識に大変助けられ、かつ尊敬の気持ちを抱きました。すこしでもみなさんに近づくことができたら、と思います。

14-1. 「生理学実験のための電気回路・機械工作・プログラミング(1) (生体アンプとバスチェンバーの作製)」

- スタッフの皆さんがマンツーマンで非常に丁寧に指導してくださったお陰で大変満足のいく内容でした。他の知り合いの学生にも是非こういうトレーニングコースがあるということを教えてあげたいと思います。
- ほぼ付きっきりで指導を受けることができました。貴重な時間をこれほどまでに割っていただけたことに対し感謝しています。また、工作実習を通じて「ものづくり」の基礎的技術、詳細な原理を効率的に学ばせていただくとともに、完成品を動作させる楽しさも体験することができました。非常に有意義な経験でした。

14-2. 「生理学実験のための電気回路・機械工作・プログラミング(2) (C言語によるP I Cプログラミング)」

- 他の大学の学生と交流を持つことが出来、よい刺激になった。
- 簡単な電子回路作成と作った電子回路の使用方法を体験できて面白かったです。
- ・現地で配布されたテキストの内容はとても充実したもので、後学のためにもなる者でした。・参加人数に対して同数のスタッフの方がつき、マンツーマン体制になって丁寧に教えて下さるという大変贅沢なトレーニングをさせていただきました。・座学のスピードが若干速く感じられる部分もありましたが、いつでも質問できる環境だったので問題ないと思います。・2日目のC言語の講義の時点から、座学で学んだ概念・知識をすぐに実際に手を動かして体感してみることがもっとあっても良かったのではと思いました。・毎日復習のための宿題・課題があるとより知識の定着の助けになったように思います。・これを機にスタッフの方とお知り合いになれたことが何より喜ばしく思います。

15. 「はじめての電子線トモグラフィー」

- 電子顕微鏡の試料作成からトモグラフィーによる解析まで概観をつかむことができたので有意義でした。
- 今まで電顕を使って色々曖昧だった知識や技術について、一から丁寧に分かりやすく説明して下さったり相談のっていただけだったので、とても勉強になった。色々な種類の電顕があることを知り、もっと多くの電顕を利用できればより多彩な研究が可能だと実感した。今回はその一部を体験することができたが、他の電顕についても興味を沸かしたので、今後勉強してみたいと思う。トモグラフィーも初体験で、これまで論文などで目にしてきたような電顕の3D画像の作成方法がよく分かった。この技術は自分の所属研究室に帰ってからでも挑戦できそうなので、ぜひ生かしてみたいと思う。こういったトレーニングコースは参加自体が初めてだったけれど、参加して本当によかったと思う。

12. 交流会に関して (複数回答)

- 他の参加者とも交流を深めることができ様々な分野の方と接する機会があり非常に有意義な時間を過ごすことができました。
- 他の参加者や研究スタッフと交流できるので良かった。
- 参加されている先生方が思ったよりも少なく、あまりスタッフの方との交流ができなかったのが残念でした。他の参加者の方とは交流をすることができ、いい刺激になりました。食事が多かったため、残ったものを廃棄するときが心残りでした。
- 今回は私の所属する大学からは私一人での参加でしたので、知り合いもおらず不安でしたが、私と同じ境遇の方が多かったこともあってか、様々な分野の方と交流できたことが非常に有意義でした。
- 料理がたいへん美味しく良かったです。交流会の前にスタッフの方の所属を紹介して頂けると、興味のある研究室への交流会を介したアクセスが可能になるのではないかと思います。教授の方の顔は分かるのですが、スタッフの方の所属までは認識できませんでした。ジャズの企画もメリハリがあつて良かったと思います。
- 食事があんまりおいしくなかったです。
- 同じコースの中は当然のこと、他のコースの参加者とも交流できてよかった。料理が少しもったいないと感じた。
- なかなか他のコースの方とは交流できなかったけど、少なくとも自分が参加したコースの方とは交流ができたかと思います。
- 後半、歌もあってよかった。
- 全体の交流会自体は時間が少し短かったですが、いたし方のないことだと思います。その分、別の日に皆様と飲みに行つて交流できたので十分です。
- まあまあ
- もっと色々な人としゃべればよかったと思った。

- いろいろな方とお話することができて楽しかったです。
- 他の人と交流できてよかった。時期的にはもう少し早くてもよかったと思う。
- 残飯が大量に捨てられていたのが、少し心が痛かった。
- トレーニングコースの担当以外の先生方とお話できる機会があり、有意義でした。ただ、バックグラウンドミュージックの音量が大きくて、少し話しづらかったのが残念です。
- 学会の懇親会とほとんど変わらない雰囲気を感じました（ジャズ演奏を除いては）。よい経験になりました。
- 音楽の音で話が聞こえないことがあった。ライブにするのではなく、BGMとしてやればいいと思います。
- 様々な分野の研究者の方や大学院生の方と研究のお話することができて大変有意義でした。
- さまざまな研究施設から来ている方々とお話する機会は今までほとんどなかったので交流会のような場は本当に楽しかったです。皆さんの研究生活の話聞いて自分もがんばらなければなあと励みにもなりました。
- これまで面識のあった本コース外の先生方にも、お会いすることができました。また、日頃接することのない色々な研究室や年代の人々と、リラックスした雰囲気の中で交流できたことは大変有意義でした。違う分野の方とお話すると、全く思いもかけなかった興味深い話を聞くことができ、視野が広がったり、研究のヒントになりました。
- とくにないです。
- 普段交流のない分野の方々と交流することができて楽しかったです。
- 受講コース以外の先生とも話をする機会をいただき、最新の研究の話などを聞くことができてよかった。
- 普段、周りにfMRIの研究をしているひとが少ないため、このような機会に生理研の先生や同じ受講者に直接話を聞くことができたのはよかったと思いました。
- 定藤先生の気さくな一面が見られたのでとても有意義でした（笑）
- 生理研の先生方と自由に交流させていただき、大変有意義でした。
- 料理の質、種類ともに満足できた。
- とても楽しかったです。
- ジャズ演奏なども聴けてよかった。食べ物もたくさんあって、十分にお腹を満たすことができました。
- ジャズバンドは素敵でしたが、会話が大変でした。声を張り上げなければならなかったのです。
- 交流会では、あまりほかの参加者との交流は少なかつたかと思ひます。まったくないわけではありませんが、もう少し積極的に交流を持ちたかつたと思ひます。
- さまざまな分野のかたがたと交流できてよかった。
- 想像していたよりも豪華な交流会に驚きました。他の参加者の方ともお話できよかったです。ただ、食べ物が多く捨てられてしまったことが残念です…。
- ご飯がおいしかった上に、初めてジャズの生歌や生演奏を聞きながら食事をした経験が始めてであったので、参加してよかったと思つた。トレーニングコースで疲弊している上にこのような、交流会を催していただき、ありがとうございました。
- 違う分野の方と話ができ大変有意義だった。
- いろいろな方とお話することができてよかったです。
- 定藤先生にもご挨拶でき、大変よかったです。
- 他のコースの受講者や教員との交流はできませんでしたが、同じコースの先生方や受講者と交流でき、様々な分野から有意義な情報を得ることができました。実行委員の皆様準備等ありがとうございました。
- スタッフの方々の会話に割り込むのはなかなか勇気が必要で、思ったほどお話ができなかつた。
- 今回の目的のほかの研究者との交流を持つことに十分に満足できました。ライブも盛り上がつてよかったです。
- ジャズの演奏などあり、和やかな雰囲気でも有意義なひとときでした。準備いただいた係りの皆様に感謝です。また、撤収の際、協力などからチームとしての理研のすあらしさ人間性を感じました。ありがとうございました。
- 今年からトレーニングコース参加者も会費を払うという形式に変更になったそうですが、出していただいた料理も豪華で、額面自体もたいした額ではなかつたこともあり、満足しています。他の参加者となかなか話す機会やタイミングがつかめませんでした。何人かの方と知り合うこともでき、有意義な懇親会であつたと思ひます。
- 参加費を払つたのにも関わらず、残念ながら、実験の都合上参加できませんでした。できれば参加費は交流会会場でお渡しするような形を取つていただけると有り難いです。
- 実験が長引いたため、交流会に参加できませんでした。参加費を事前に支払つておいても、都合が悪くなつて参加できない場合には払い戻しをしてもらえるとうれしいです。
- ジャズ演奏によつて、参加者同士あるいは参加者とスタッフの交流の時間が減るのではないかと感じた。
- 違うコースの人や研究員の方と話することができて、とても良かったと思つています。
- 先生方の意外な一面を垣間見ることが出来、一層生理研や先生方に親しみが感じられるようになった。
- 他のコースの参加者と意見交換することができ、非常に有意義でした。

- おもしろかった。
- 料理が豪華でびっくりしました。事務の方の歌が素敵でした。
- 食事が大量に余って廃棄されていたので、量を減らしてその分解費を減らせれば良いと思います。
- 催し物もありつつ、他の参加者と話げできたのでよかったです。
- 普段話しかけることの機会のない教授などにお話をうかがうことができたので、非常に有意義でした。
- 楽しい時間をすごすことができました。研究所スタッフ、他大学の人と触れ合える機会を得てよかったです。
- 料理がたくさんあって満足でした。
- 学生や大学などの研究機関にいる方だけでなく企業で働いている方とも話せて、研究についてはもちろん将来のことなども話せてためになった。また、研究についてお互いに熱く話し合えてとても楽しかった。
- 教授の先生方に話しかけるのはとても勇気が入りましたとくに先生方で固まっておられるとどうしても…もっとの先生がどういった研究をなさっているかという下調べを入念にしておけばよかったですと少し後悔しています。しかしお知り合いの院生の方に紹介していただいたりして、興味のある分野の教授の方とお話することはできたのでよかったです。他にいた学部生の方とも交流を深めることができました。企業の方、医師の方、歯学部の方など非常に多様なバックグラウンドの方とお話できたのでとても有意義でした。もう少しそれぞれのひとがどういう研究をなさっている方なのかパッとみてわかるような仕組みがあれば話しかけやすかったのにはと思います。参加者や教授の顔つきでバックグラウンドのわかるような名簿をくばるとか…難しいとは思いますが。
- スタッフの方や、他の参加者と交流できて満足ですが食べ物に野菜が少なかったのが残念です。揚げ物や肉類、炭水化物ばかりだと辛くなってくるのももう少し軽い食べ物も用意してほしいです。(サラダ、果物など)ビール以外のお酒もほしいです。ジャズ演奏は素敵でしたが演奏中は話げしにくかったのでBGMとして聞ける音量で演奏してもらったほうが良かったかもしれません。
- ジャズ演奏・歌はずばらしいものでした。・ビール以外のお酒も頂きたかったです。・料理が余りすぎていたのが非常にもったいなく感じました。(料理代をお酒代に回してもよかったですかと思われます。)・交流会の企画・準備をして下さったスタッフの方々に感謝致します。
- 色々な人と交流できたので、参加してよかったです。
- 他のコースに参加している研究者と交流することができて、とても楽しかったです。事前に参加者に研究内容や紹介を1枚のプレゼンにまとめて送信していただき、開会のときに冊子などで配布していただけたら、興味のある研究者を探してコンタクトすることが容易になったのではと思いました。
- 各研究班の交流会を二日目ぐらいにやって、総合の交流会の時間は実習に回したかった。
- 料理、飲み物などは十分に満足でき、ご馳走様でした。ただ、初日の研究室紹介などで興味のあるお話を頂いた先生に対し、この交流会でお話げできることを期待していたのですが、一部の先生方にお会い出来なかった(お見かけしなかった)のは少し残念でした。
- 様々な方とお話する機会となり、貴重な経験になりました。また、パッチクランプだけの懇親会も計画していただきとても楽しかったです。
- 食事が、炭水化物類が多かったように思います。
- お酒を介して話をするのは、様々な話げできる点で、非常に有益であると改めて感じた。
- 同じトレーニングコースの人同士で固まってしまっていて、他のトレーニングコースの人に話げかけるのが大変だった。学部生から企業の方まで幅広くいたので、いろいろな話を聞くことができた。研究所スタッフがどこにいて、どの人がそうなのかよくわからなかったもので、スタッフの話げ聞けなくて残念だった。
- 生ライブが良かったと思います。
- いろいろとお話げでき、大変よかったです。楽しかったです。会場の都合だと思いますが、あれだけ食事があまるのであれば、希望者でそのまま二次会ができればと思いました。まだまだ話げ足りない人も多かったと思います。JAZZ演奏の方々、お疲れ様でした。応援しています。
- 他のコースの参加者とは交流会でしか話げす機会がないので有意義な時間でした。生ライブはよい企画だと思いますが、演奏中は会話しづらく感じました。交流会の時間をもう少し延長できればより有意義だったと思います。
- 実習に参加した研究室の方との交流がほとんどでしたが、他の研究室の方と交流できた人もいたと思うので、交流会自体はとてもよかったですと思います。ただ、せっかく色々な人とお話しする場だったのですが、ジャズの演奏が長すぎて、その間なかなか自由に話げすることができなかったのが残念でした。演奏はとても良かったと思うのですが、たくさんの方と交流することがメインの会なので、もう少し短くしてもらえ、もっと音量を下げてBGM程度に演奏して頂く方が良いと思います。あと、お料理がたくさん残ってしまったのがもったいなくないかと思ひます。量が多すぎたのか、あまり美味しくなかったのでしょうか…。
- JAZZのコーナーもあり、楽しかったです。
- ジャズまで流れた、非常にフランクでフレンドリーな会でした。ほかの研究者の方と、何をしているのかや、実験における裏話を聞くことができたのは、非常に有意義でした。
- 交流会で富永先生とお話げすることができて、うれしかったです。ピザがおいしかったです。
- 学部生から社会人まで、広い層・研究分野の方とお話げすることができたので、有意義でした。今まで自分が持たなかった考えを持つことができました。若い人は特に参加すべきと思ひました。料理が大量に余っていたことが気がかりです。もう少し量を減らしても良い

かもしれません。

- きれいな会場で、ジャズを聞きながら、他大の大学院生や研究者と交流でき、楽しい時間を過ごすことができました。参加費もとても安く、参加しやすかったです。
- 今年の交流会は豪華でしたので驚きました。参加費をほとんど取っていなかったのが、経費の捻出に無理がなければいいのですが…。
- 全体の交流会では、人数が多すぎるのかかえって内輪で話している人が多いように見えました。パッチクランプのグループの交流会がかえって交流が広がっているようでした。どちらも楽しかったです。
- 今年は多くの方と交流できました。おいしい料理と良い音楽のおかげだと思います。
- 料理が個別包装になっていて衛生面でも安心でき、美味しかったです。あえて要望を言うならば、前半だけでもテーブルの位置を、高次の認知をやっているグループ・動物実験グループ・分子細胞生物学のグループなど大まかに分類されていれば交流するきっかけがより掴みやすいかと思いました。
- とても楽しく過ごしました。別コースの先生にお話おうかがいしたところ、そのコースの参加者の皆様をご紹介いただき、いろいろと交流することができました。参加コース以外の参加者と話がしたいと思いながら、知人のまったくいない状況でどうしようかと思っていたのですが、交流することができ本当に嬉しく思いました。食べ物がたくさん残ってしまったのが心苦しかったです。限られた時間の中でたくさんの方とお話ししようと思うと、どうしても箸が止まってしまうので…
- 自分と同じ学部生の人とお話することができて、とても楽しかったです。
- 砕けた雰囲気の中で皆さんと交流出来、とても楽しかったです。研究熱心な方が多いので、何気ないおしゃべりの中で様々な情報を得る事が出来、非常に有意義な時間を過ごさせて頂きました。ジャズもよかったです。

1.3. 生理研の印象

- 研究されている方々が本当に親切であり、基本的な内容でも細かく指導していただきました。設備も充実しており、研究をするための環境がしっかりと整っている印象を強くうけました。
- スタッフは、皆、親切で、また研究に真摯に取り組んでいることがすばらしいと思います。
- トレーニング受講前は、堅苦しく難しような印象がありましたが、実際は外来研究をさせていただけるなどの多くの制度があり、自由度が高い研究所だと実感できました。また研究を習わせていただいたり、外来研究をする機会を積極的に作っていきたいと思います。
- 私が今回見学させていただいたのは生理研のほんの一面であるとは思いますが、スタッフの方々のアクティビティーが非常に高いことに改めて驚かされました。また、私のイメージでは大学院生がかなり在籍しているかと思っていましたが、各研究室に1~2名程度というは以外でした。
- 初日は駅からカンファレンスセンターまでの坂道とこの時期の暑さに地図を何度も確認するほどでしたが、実習では、大学時代に戻ったような楽しい雰囲気を感ぜられて良かったです。どの研究室も最先端の機器と精巧に練られた実験系をお持ちだなと感じ、他の研究室がどんな研究に従事しているのかにも興味をそそる環境と、多彩な研究課題があるので研究所内で1つのターゲットから仮説証明まで到達できる組織になっていると思いました。
- 本トレーニングコースは最先端の研究を、社会に還元する企画であると感じた。受講前より、実験に対する理解度も知識も飛躍的に高まったと思う。指導教員の熱意が感じられた。交通の便がよくない点が玉にきずか。
- ラボ間の垣根が低く、交流が盛んにあるように思えました。
- 非常にフレンドリーで、かつ実験に真摯に取り組んでいるという印象を受けました。
- 自由な雰囲気でも実験が出来る環境だと思いました。共同研究にも積極的な印象を受けました。
- 大学院を設置していることを初めて知った。必要な機器が揃い、充実したスタッフのサポートの下で行う研究は充実したものになると思う。もっと世に広く宣伝してもよいと思った。また、手作りの器具に頼ることも多いため、技術課のようなセクションがあるのは羨ましい。
- 研究所の特性が大きいのでしょうけど、非常にオープンに情報を公開してもらえると印象を持ちました。色々とお親切に指導してもらったことにも感謝しています。とはいえものの、トレーニングコースを受けただけでは完全に使いこなせるところまではいかないとも思いますので、今後も情報交換ができればと思っています。
- 最初の講義が第一線で活躍されている先生方の熱い学問への思いが感じられて刺激的でしたが、難しかったです。パンフでみると色々な分野の方が交流されていて、それがいい結果を生むのではないかと思います。えらい先生方ですが、高圧的ではなくフレンドリーな印象でした。
- fMRI が3台もあるなど、とても充実した環境だと思う。
- 研究所、という指導を請いに行っても「まずは自分で勉強して来い」と言われて、とても敷居の高いイメージを持っていました。でも、実際生理学研究所の皆様は全然違って、サルでもわかるように何度も何度も丁寧に答えてくださいました。所長も仰っていましたが、自分たちのノウハウをOPENにしてくれる共同研究所としての姿勢にとっても感動しています。
- 世界的に最先端の研究を自由かつエネルギーにに取り組んでいる雰囲気が伝わってきました。

- よい人材がそろっていて、素晴らしい研究所
- 自分の分野がもともとは情報系だったので中には入りにくい分野だなとは思いました。でも、情報系のアプローチでどんどん研究できる部分もあると思ったので、是非機会があれば研究してみたいと思った。
- 最先端の研究をされていてすごいなと思います。また、お互いに切磋琢磨されている感じがしてよい印象でした。
- 施設はすばらしかったが、坂道がきつかつらかった。
- スタッフ同士の交流も良く取られ、研究に関するノウハウが得られるシステムになっていて、とても良い環境だと思いました。
- 参加させていただいたコースの研究室の雰囲気が大変良かったのが印象に残りました。研究設備も整っており、羨ましい限りでした。
- とても広く、目的地までの行程が長く感じられました。。。(大変個人的な・・、主観的感想です。。) 研究設備の整った、非常に恵まれた環境にあると感じました。
- 研究環境（施設・人材）ともに予想以上によく、共同研究をしたいと思うようになりました。トレーニングコース一回限りでなく、さらに交流できるようなコースを増やしていただければうれしいです。
- 非常に内容の高い研究をされており、世界の最先端の研究をされていると思いました。
- 研究する際に、設備も充実していてすばらしいと思います。
- 皆さん本当に仲がよさそうで、みなさんが一致団結しているからこそのいい研究ができるんだろうなという印象を持ちました。私は、まだまだ力不足ではありますが、私も生理研で研究できたら幸せだなと感じました。
- 広い分野で、かなりオープンな印象があります。
- 毎日坂を登るのが大変だった。
- 建物が古いかなと思いました。食堂は個人的にはやはり微妙だと思います。
- 生理学研究所の研究に取り組む環境は素晴らしいものだと思います。また、共同利用機関ということで外部の研究者を受け入れる環境が整っていることはとても嬉しく、機会がありましたら共同研究をお願いしたいと考えております。
- 生理研全体についてはわかりませんが、今回参加させていただいた研究室に関しては、所属している方々の雰囲気もよく研究室全体が協力的で楽しく研究しているなという印象を受けました。実習時にも非常に良くしていただいて有意義な時間が過ごせました。
- 最先端の研究機器と優秀なスタッフがそろっていて、研究を行うのに理想的な環境であると感じた。
- 共同研究や共同利用を多く行っており、研究のレベルも非常に高いと感じたので、研究できる環境が高い水準でそろっていると感じた。
- ここに来るまでは、正直、近寄りたいたいトップ集団という印象を持っていました。他のコースは分かりませんが、少なくとも今回参加したコースの先生やチューターの方々はとても親切に接して下さり、一般の研究者にも開かれているという印象に変化しました。また、共同利用研究も募集していることを知ることができたのもよかったです。
- 研究所ってものはもっとピリピリしている場所だと思っていたのですが、すごい和やかな感じの場所でした。研究者の方も若い方が多く話しやすかった。
- 専門分野の研究を行うには、指導、技術サポート、切磋琢磨の点で非常に理想的かと思います。機会があれば是非こちらで学んでみたいと思います。
- 今回、参加させていただき、生理研のオープンな研究環境を知り、将来的にも利用させていただきたいと思いました。
- 最先端の技術を取り入れた、魅力ある研究を行なっている研究者が多く、大学の研究室とは異なった印象を受けた。
- Openで親切であり、先端を進んでいる感じでよかった
- スタッフの方々が、皆さんやさしい方ばかりですし、研究環境もとてもよさそうなので、生理研で研究したくなりました。
- すばらしい研究環境だと思いました。スタッフ同士の仲がよいと感じました。
- 学部学生がいない「研究所」という普段なじみのない、独特な場所の雰囲気を味わえてよかった。
- 今回お世話になったチューターの方々のオープンな感じがとても勉強しやすい印象を与えてくださいました。そして、その学問に対する並々な知識と思いを肌で感じることができ、とてもとても刺激になりました。また、今後機会があれば生理学研に研修生または研究員などで将来学びにこられたら、と心から思いました。
- 研究所のスタッフがとても親切に対応して頂いて感謝しています。あとは、みなさんとても知識が豊富で、このような形でほかの研究者にその知識を還元していただけて有難いです。
- さまざまな研究をしている。
- とても暑いことでした。
- 私がお会いしたスタッフの方たちはみなさん知識も豊富で、素晴らしい人材が集まった場所なのだと感じました。参加者の方たちからもいい刺激がありました。
- 最初は、堅いところだなと思ったけれども、話してみるとかなりフランクであったので、メリハリが利いていると思った。
- 大変高レベルな研究をしていてうらやましいと思いました。
- 最初は内容も難しいのでかなり堅苦しい講義・実習になると思ったが非常にわかりやすく聞きやすい講義だった。
- 各研究室の規模は大きくないですが、少数精鋭でかつアットホームな雰囲気を感じました。研究所にしてはかなり雰囲気の良いところだと思いました。

- 先生方が非常に仲が良く、とても熱心に研究されているのが伝わりました。
- 研究用法について学ぶとても良い環境であると思いました。是非今後も参加させていただきたいです。講師の派遣などもあれば利用したいです。
- 技術的な指導を受けているとき、プロフェッショナルというのはこのような人であるんだな、と思いました。研究員という職業は一般的に硬い職業のような印象を持っていますが、決してそのようなことはなく、本当に寛大でやさしく丁寧に教えていただきました。優良な会社には優秀な人が自然と集まるといいますが、本当にそのとおりであると思いました。
- みなさん親切で親しみやすかったです。
- レベルの高い研究をしているだけでなく、今回のトレーニングコースや各種研究会の開催など分野全体を盛り上げようとされているのが印象的です。
- 高度な知識と技術で、よい研究成果を出している研究所として、尊敬に値すると思っている。このような一般研究者にオープンな機会を設けているのは、われわれのような神経科学への途中参入組にとっては大変ありがたい。共同研究の受け入れも盛んであると聞いたが、どの程度のレベルが要求されるのかを教えていただければ、こちらも申し込みやすいと感じた。将来研究者を続けていて、かつ脳機能科学の分野に残っていたなら、ここのスタッフの方と共同研究することを目指したい。
- 明るい雰囲気と、やる気のある研究者の方々と、とてもよい印象を持ちました。これからも何らかの形でかかわりを持っていきたいと思いました。
- 全体的にすばらしい研究環境にあり、研究者の方々もエネルギーで意欲をかきたてられる研修でした。
- (基本的に) 大学ではない研究機関ということで、ポスドクの方をはじめとした研究者の方が非常に多く、ぴりとした緊張感のあるいい環境だと感じました。設備も非常に整っており、充実した研究を行えるよい場所であろうと思います。
- 設備が充実していて研究を行うために最適な環境だと感じました。
- 自由に研究できる環境だという印象をもった。しかし山手地区はアクセスが悪く、食事の施設も少なく不便だと思った。
- 考えていることを自由に言える雰囲気があって、研究しやすそうだと感じました。
- 広々としており、多くの機器が揃っていることに驚きました。非常に良い研究施設だと思います。
- 研究室のスペース、実験器具など、研究をする環境には恵まれていると思いました。ラボごとが区分化されていて、ラボ間での交流が難しいように思えました。
- 静か。
- 研究に打ち込むのにはとても良い環境だと思いました。設備も豊富ですばらしいです。
- 日本におけるトップ研究者の集団であるという印象がある。
- 自由な雰囲気、先生方が楽しみながら研究に没頭しているように感じた。
- 諸先生方も気さくな方が多く、交流会などで少しお話ができて良かった。また今回参加して電顕などの機器類の豊富さにはとても驚かされた。そういった面では特に素晴らしい環境だと感じた。
- ラボあたりの床面積が広く、また静かな環境で、すばらしい。
- 論文に対する解釈・評価が非常に客観的であり、IFの高い論文の情報=信頼性の高い情報ではないのだと痛感した。わたしも今後、論文の情報を精査し、IFの高い論文であっても客観的に評価できるようにし、自分の実験データを比較していきたい。そういう意味でも有意義であった。やっぱり日本のサイエンスを引っ張る研究機関なのだなと思った。
- 清潔感があってよい。売店が近くにないのは少し不便
- 実験設備の充実ぶりにただただ驚きました。
- 設備が非常に充実していて研究に適した環境だと思いました。
- 自分の大学にはないいろいろな設備が整えられていて、驚きでいっぱいでした。
- 交通は少し不便でしたが、研究する環境としては良かったと思います。
- 非常にオープンな雰囲気。存在をもっと早くに知りたかった。
- 大変設備が充実している。
- 非常にオープンで、共同研究や、技術の質問など、話しやすいイメージにありました。
- みなさんが親切で、過ごしやすい環境であると感じました。また同時に研究する環境としてはいい場所であると感じました。
- 研究内容がハイレベル。研究者の知識が豊富。オープン。実験技術に関して絶対の自信があるように感じた。そして、その技術を惜しみなく提供する姿勢を目の当たりにして、競争にこだわるのではない魅力的なサイエンスを感じました。
- 研究機関に来るのは初めてだったが、みなさん専門家でいらっしやるのでどんな人との会話全部が勉強になった。
- 研究室によって個性があるなといった感じがしました。
- 今回のトレーニングコースの学生や普段から施設利用者を受け入れているだけあって皆さんとてもオープンな印象を受けました。研究も、各自が責任を持って自由に進めていらっしやる印象で、研究所全体の雰囲気が良いように感じました。
- ・非常に活気があり、オープンな印象を受けました。・スタッフの方同士の交流も盛んな様子で、大変よい研究環境だと思いました。
- 色々な研究内容があり、勉強になった。

- 研究室紹介の短いプレゼンテーションを多数行っていただきましたが、ほとんどすべての内容について興味深く思いました。脳研究のビッグラボが1つの施設に15以上あり、さすが名高い生理学研究所だな、と思いました。自分の自宅から徒歩圏内ですので、これを機会にもっとお近づきになりたいと思っています。
- 研究者の方がいきいきとされていたように感じます。大学の先生に比べて、雑務が少ないせいでしょうか。最高レベルの研究というものが、このようにして生み出されているんだと知ることができて良かったです。
- 共通利用機器が充実しており、また教室間の共同研究も盛んであるとのことで、効率的な研究が出来そうだと思います。
- 非常に自由な雰囲気の中、研究が行われていて研究者のみなさんが生体のメカニズムを純粋に解明しようとする意気込みが伝わってきました。
- 自由闊達な雰囲気にかんじました。
- 広く機能的なスペースと高価な設備。豊富な知識と技術が蓄積されたスタッフ。研究するには素晴らしい環境であると思います。そしてこれらの施設を独占することなく、積極的に開放している姿勢が感じられました。
- 最先端の研究をしており、敷居が高い印象がありました。今回トレーニングコースに参加し、実習や懇親会を通して、研究所の先生方からいろいろな話を伺うことができ、将来的には共同研究もさせていただければと思いました。
- 研究室はもちろんのこと、横のつながりもしっかりと取れていて良い雰囲気でした。
- 最先端の機器が多くそろっており、研究を行う場としてとてもすばらしい環境にあるなと思った。また、様々な分野の専門の先生方が揃っており活発な研究が日々行われているのだなと実感した。
- 研究室のスペースにとってもゆとりがあり、また先生と気軽に談話したり、相談できているのを見て、非常に研究をする面でよい環境のように思った。
- 緻密で、最先端をいくような研究を丁寧に積み重ねている感じがした。
- このようなトレーニングコースを通じて、研究者同士が交流を持てる機会を作ることは、重要なことであると思う。生理学研究所は、非常にオープンで、好印象を持った。
- 車がないと生活できない環境だと思います。受講生のほとんどは車がないので大変だったと思います。研究所自体は明大寺の1つの建物しか見ていませんが、このような施設で研究ができるのは本当にすばらしいと思います。同時に成果をださなければならないという責任も多いのであろうと感じました。また教員数と学生数の比率がほぼ1:1とは羨ましいと思いました。また私の受講した研究室では留学生が2名おり、このような方が増えると(いろいろと大変なことが増えるとは思いますが)生理学研究所だけでなく国内の科学もより活性化するのではないかと思います。
- 人材も設備も研究するには申し分ない環境が整っていると思います。研究内容は分子単位から個体レベルまで幅広く、不明な点があればすぐに専門家に相談できる雰囲気だと感じました。
- 実習させていただいた研究室では広々としたスペースで研究ができ、また、一つの部屋で実験に必要なほとんど全ての作業ができるように設備や器具が設置されていることが、とても効率的で良いと思いました。セミナー室や共通で使用できるスペース等も広く確保されていて羨ましく感じました。また、研究室紹介で聞いたところでは、最先端の研究をする施設だけあって、たくさんの高価な設備が整っている所は、さすがだなと思いました。こういったトレーニングコースを開催していることから伺えますが、留学生や外部の大学、企業からも多くの共同研究者を受け入れるなど、外に開かれている所が良いと思いました。
- 研究を行い、発信していこうという積極的な印象を受けています。神経生理分野における研究の要的な機関だとも捉えています。
- ちょっと、山奥な印象でしたが、行われている研究の質の高さと、豊富な機材、研究者の方のレベルの高さに圧倒されました。研究を行っていくことに関しては、とても素晴らしい場所であると感じました。
- 大学の環境に慣れているためか、若い人が少ないなと感じました。
- いろいろ研究設備が整っているという印象をうけました。
- 設備が高品質で、学ぶ環境として最適でした。
- 最先端で活躍する研究者の方々がおられる研究施設という印象です。
- 脳神経系の研究に関心をもってから、生理学研究所には、とても強いあこがれをもっています。生理研で研究に取り組む研究者の方々は、日本を代表する、とても優秀な方ばかりで、近づきにくいと思っていましたが、誠実に接して下さり、また、気さくに話をしてくださる先生方ばかりで、自分の研究だけでなく、若手の育成にも力をいれておられる印象を受けました。充実した研究施設を研究所だけのものにはしておられず、他の研究機関の人にもどんどん利用してほしい、と考えておられることが強く感じました。
- 先生方から学生さんに至るまで、自分の研究内容を教える事に精通した方が多い印象です。山の上、森の中なので、夏場は大変な気がしますが・・・。
- 研究環境としては設備、スタッフともに大学よりも整っていることを実感しました。共同研究機関としての位置づけを先生方が想像以上に重く受け止めておられることも印象的でした。外からの受け入れがさらに促進するような仕組み作りを進めて下さることを期待しています。もっと世間に受け入れられ、知られてほしいと思いますし、そのためには、積極的な働きかけや高校や大学への出前講義なども発展させ、科学の楽しさや、科学と技術は異なるとらえ方が必要であることを世の中に知らしめていただきたいと感じました。
- 研究の質が非常に高い。

- 少数精鋭で有能な研究者が集まっているところだという印象です。その一方で、チャンスは平等に与えてもらえるという面も感じました。今回、サバティカル制度というものがあることを初めて知り、興味を持ちました。いつか機会があれば共同研究させていただけたら幸いです。
- とてもよい環境だと感じました。目標の一つとなりました。
- 全体的にとっても真面目で落ち着いた雰囲気。研究に集中するにはこれ以上ない環境だと思いました。設備の良さにも驚きました。
- 個人的なのですが、生理研内にもう少し食堂以外の食事処があれば良いのでは、と思いました。研究所の方々が気軽に休憩できるような施設が近隣にも無さそうだったので、研究の効率にも影響するのではと考えます。
- トレーニングコースや、生理研のスタッフの方々とのディスカッションなどから、非常にオープンな印象を受けました。
- 開放的。思ったより規模が小さい印象がした。
- これまでは名前を聞いたことがあるという程度で、どういうことをやっている施設なのかも知りませんでした。しかし、今回の実習への参加を通して、共同利用が可能であるという自然科学研究機構という施設の存在をよく知ることができ身近に感じられるようになったことは、私にとって非常にプラスとなりました。

14. 生理研及びトレーニングコースへの要望

- 5日間ありがとうございました。
- 1年に、数回あればいいなと思った。
- とても有意義にトレーニングを受講することができました。日程はちょうど良く、内容もよく考えられているもので、とても勉強になる時間を過ごすことができました。1年に1度のトレーニングですが、可能であれば年2回実施していただけると、より多くの専門知識や経験を習得できると思いますので、ご検討よろしくお願ひいたします。
- 私の稚拙なイメージではありますが、生理研の大学共同利用施設という面があまり一般的に認知されていないように思えます。大学や企業と生理研との共同研究が今後より盛んになるような試み（交流会や技術交換会等）があれば良いかとは思ひます。
- コース指導者に外国人のポスドクの方がいらっしやっただので英語を話せる機会があつて良かったです。外国人スタッフがいらっしやる研究室は積極的にトレーニングに参加して頂けると違つた意味でのトレーニングにも繋がると思ひました。
- もう少し期間を延長してもらひたいと思ひます。月曜日から実習を行えるように設定して頂きたいと思ひます。
- 今回、非常に貴重な体験をさせていただきました。特に新たな要望等は思ひ浮かびませんが、今後も我々のような若手研究者のために、このトレーニングコースを継続していただければと思ひます。
- 先生方は準備など大変かと思ひますが、今後も続けてもらひたいです。企業での研究をしている場合、新しい技術を学ぶ機会はとても少ないので、このような機会を積極的に利用したいと思ひます。
- 特に不満はないというぐらひ充実した5日間でした。
- 来年度以降もこういったトレーニングコースの開催は続けてもらひたいと思ひます。今後も、情報開示等、研究者に役立つ試みを続けてもらへたらと思ひます。
- 昼食の弁当など希望を募つて、まとめて注文とかできればさらによいと思ひます。大変お世話になりました。
- ロッジに泊まれなかつたので、ロッジを拡張してほしい。どうもありがとうございました。
- 12月のアドバンスコースを楽しみにしています。また、SPMやMATLABの使い方で「このデータを見るにはどのように操作すれば良いか」ということで悩むことが多くあります。そういった悩みを解決できるようなメーリングリストなど、開設していただけると助かります。
- 是非、これからも続けていただきたいと思ひます。
- 食事がまずいのでどうにかしてほしい
- fMRIのコースをもうひとつ増やしてほしい（もう一つアドバンスなコース※それなら来年もこれるので一週間本当にお世話になりありがとうございました。
- スタッフにも名札をつけて欲しい。交流会は初日にすべき
- 日程が厳しくなると思ひますが、一度に複数のコースに参加できると良いのですが・・・。
- 解析ソフトの説明書を引ながらではなかなか得られない、操作の背景がうかがえて大変参考になりました。
- このようなコースをさらに拡充させてほしいと思ひます。総研大としての教育のマテリアルを社会に公開してほしい。
- 来年、後輩にも参加を勧めたいと思ひますので、御指導賜れば有難いです。
- 内容自体本当に満足しています。でも講義はちょっとスピードが速くてついていけない時がありました。
- 受講許可が出てからコース参加までの期間が短いと感じました。私は、MATLABを持っておらず、受講許可が出てからバタバタと購入手続きをしました。（購入用の研究費を自分でもつておらず、研究室の上司に相談して購入費を調達したり、スペックの高いコンピューターを自分で購入したりと、かなりの手間と時間を要しました。）また、講習テキストがもう少し早く送られてくると、予習が十分できたと思ひます。

- 旅費や宿泊費の補助をしてほしいです。
- 近くに泊まれる施設がほしいです。夏暑いので、荷物引いて歩くのが大変でした。
- 初心者から経験者までを対象としているようなので仕方ないことだが、できれば初心者用の広く浅いコースと、経験者用のピンポイントで深いコースがあったらと思いました。
- 昼ご飯を買う場所がほとんどなかったのが、希望者は弁当を注文できるようなシステムがあればいいと感じました。
- ぜひ、今回の初級編の続きの中級編や応用編についてもぜひコースを開講してほしいと思いました。特に、論文によく出てくるような図表の作り方などは、周りに研究している人がいないと聞くことができないので、そのような部分のフォローもあるといいと思いました。
- 特にありません。非常に有意義でした。強いて言えば、もう少し気軽に参加できる(短期)な講習会があっても日頃の疑問を解決するためにありがたいかと。
- 将来、共同研究の申請をさせていただいた際には、いろいろとお世話になるかと思いますが、どうかよろしく願いいたします。
- 同じコースでも初級者と上級者向けのコースがあるとよいと感じた。
- 講義資料が文字ばかりでしたので、画面などの図があると良かったと思います(初心者の方々は、文字を読まないことが多いので)。
- トレーニングコースの受講は一回目の方が優先ということですが、できれば中級、上級コースというように、ステップアップしていけるようなコース設定になっていけばありがたいです。
- 8月は暑いので秋ころ開催していただけたらうれしいです。
- もっとトレーニングコースを増やしてほしい。
- トレーニングコース終了後の質問などができるようなシステムがしっかりとあるのもっとうれしいです。ただ、期間中だけでも十分な質問に答えていただけました。
- トレーニングコースにNIRSのコースが欲しい。
- fMRI 以外のVBMやSPECTなど解析方法についての講習会もしていただきたいです。
- 今後もこのトレーニングコースを行ってほしい。ただ内容が難しいのでどってから操作方法がわからなくなりつまずいてしまう気がする。現実的には難しいかもしれないがトレーニングに一定期間でいいのでメールなどでの操作のサポートなどしてもらえるとうれしい。
- もう少し涼しい時期に開催していただくか、昼食やお弁当の手配が簡単にできるとうれしいです(カンファレンスセンター)。
- アドバンスコースも1週間の集中コースを希望します。
- 学部生用のトレーニングコースを設けてほしいです。現状として日本の大学は学部時代に研究の世界に入る、または知るといったような制度が十分でないという気がします。理系学生であっても4回生から本格的な研究にはいるというのが主流です。現在は就職活動に苦戦する学生が増えており、研究室にはほとんど大学院生しかいないという研究室も多いです。その結果院生さんは人手が足りず昔の倍仕事が多くなり研究効率が落ちてしまいます。さらに学部生が来ないことによって研究をレクチャーするというスキルや機会が減ってしまい、未来の研究者としての実力がつきにくくなってしまいます。このような負の連鎖は、日本においていい印象をあたえません。その結果、研究という分野が軽視されてしまいます。そこで私は生理研究所の技術をより多くの人に知ってもらえるように、このようなトレーニングコースを学部生対象に行っていければいいと思います。学部生特に1.2回生に研究という分野を知ってもらうことが目的です。プロフェッショナルの仕事はだれが見てもかっこよく見えるものです。参加した学生は研究に興味を持ち、研究室に足を運ぶきっかけとなると思います。さらに研究者を目指すか決めた若い学生が集まることはそのコースに関わった人たちのコネクションになり、ひとりで研究しているのではなくみんなで研究しているという気持ちを生むと思います。神経系の研究はもっとも注目されている分野のうちのひとつであると思います。是非その技術を教育の分野に生かし、更なる日本の科学技術の向上のために生かしていただきたいと思っています。
- たくさんの資料を頂き参考になりました。SPMのマニュアルのところは、時々アドリブで追加される項目や注意事項があったりしたので、あらかじめ記載されていると後でわかりやすいかと思いました。
- スライスパッチのコースに2種類研究室があって、それぞれ内容が異なることをもう少し明記してくれるとありがたい。実際には異なる研究室のやり方が学べて勉強になったので結果的にはよかったのだが。
- 人気のコースということを知りましたが、できれば来年も参加したいです。ありがとうございました。
- これからもこのような機会を作っていただきたい。また、同じfMRIの内容でも刺激提示法(プログラム)も学習できる機会を作っていただけるとありがたいです。また、参加できればと思うので再受講も可能にしていきたい。
- これ以上規模を拡大することは難しいことは承知しているが、複数回の参加が認められれば嬉しい。
- 引き続きこの調子で、価格も引き上げずに、将来の研究者たちの先駆者であってほしいと思います。
- 一度、研修を受けた人は、次回からはじかれるとのことでしたが、一回ではなかなかマスターできませんので、入門編から段階的にコースが複数あるか、グループを到達別に組んでいただいて、支援いただければ幸いです。
- 全5日間の日程でしたが、事実上初日はオリエンテーションであったので、もう1日長く実験手技を学びたいと感じました。トータルで5日間ほど手を動かすとかなり技術も自分の物になると思います。4日間では微妙に煮えきらず、もうちょっとやりたいな、と思わ

せるような気がします。

- 複数の実習に参加できるプログラムがあるとうれしいです。
- とても丁寧に教えてもらったのでよかった。今後も続けてほしい。
- テキストに書いてある内容の内、実際にやるものとやらないものを書いてあったのですが、実際にやるものだけ書けばいいのではないのでしょうか？
- コンファレンスセンターへの道が分かりにくかった。
- Visual Basic やC 言語を使ったディスプレイ出力の制御プログラム作成など、ソフトプログラミング寄りのコースがあるとうれしいです。
- 実習期間をもう少し長くして欲しいと思いました。(2週間位)
- 配られる冊子に、たとえば初日にあった研究室紹介の内容を簡単にまとめたようなものがあれば、より他の研究室で行っている研究内容なども把握し易く、興味を深めることが出来るのではないのでしょうか。
- 毎年継続的に行われることを希望します。
- 2週間コースなども実施していただくと、より深く学ぶ機会が得られ、ありがたいです。
- もう少し色々な分野のコースがあればいいなと思った。(今回はパッチ系が多かった気がするので)。
- ぜひ続けてください。
- 特に要望はありません。一週間熱心にご指導いただき、誠にありがとうございました。
- 上でも書いたが、初日を丸々講演で潰してしまうのは勿体ないと思った。
- 各研究室の見学は、初日の研究室の紹介後に希望をとったほうが質問などに行きやすいと思います。また複数の研究室にも見学させてもらえるようにもすると思います。
- もう少し期間を長くしてほしい。または、年に何度かこのようなトレーニングコースがあるとうれしいです。スタッフの方は大変でしょうが…。
- 今後も続けてください。
- 継続して開催していただきたいです。
- 研究所スタッフのみなさんは忙しいと思いますが、トレーニングコースのようなものを年1回ではなく年に数回行えればいいのではないかと思います。
- 今後ぜひ、継続していただきたいと思います。ありがとうございました。
- 参加を希望していた友人が選考に漏れて悔しがっていました。受け入れ人数を増やすか、選考基準を事前に明らかにして欲しいそうです。
- 今回のトレーニングコースは想像以上に満足のゆく内容でした。1点だけあげるとすれば、実施期間に関してです。帰ってからの復習が一番大事なのはもっともですし、スタッフの方を拘束してしまうのは申し訳なく思いますが、実施期間を1-2日でも長くして(お金も余分にとって)、知識・技術の定着を確認する時間的余裕を増やしても良いのではないかと感じました。すべてのコースを受けたわけではないため、一概にこのような要望を出すべきかわかりませんが、大変難しい問題かとは思いますが、他の参加者の方々の意見も合わせてご検討頂けると幸いです。
- 今回のトレーニングはとても満足するものでしたので、要望は特に思い浮かびません。来年も参加したいと思っています。
- ロッジを希望して入れなかった場合には、少しでも金銭補助があればとは思いますが、(特に、自己負担になる修士や学部学生に対して)難しいことかもしれません。その他に要望などはなく、大変素晴らしい1週間を送ることができました。ありがとうございました。
- 私が受けて非常にためになったので、同様に研究をはじめの後輩がいれば是非勧めたいと思う。最後に、1週間という貴重な研究時間を私達に費やしてくれた富永研の教授をはじめとした研究員の方々に深くお礼を申し上げます。いままでよくわからなかったパッチクランプのことが、徐々にわかるようになってとても興味が湧いてきました、今回の実習で本当にいい経験ができました。誠にありがとうございました。
- トレーニングコース中、或いは終了後に参加者によってされる多くの質問(特に技術面)と回答を可能ならデータベース化して頂き、閲覧できればよいかと思えます。また、トレーニングコース終了後の質問などの受付場所(メールアドレス)などがあればよいかと思えます。(直接、担当のスタッフに連絡すればよいとは思いますが、質問内容によっては適切ではないこともあるかと思えますので…)
- 可能であれば、来年も参加させていただきたいです。
- 今後も、トレーニングコースを続けて頂き、機会があれば参加したいと思えます。
- 先生方には、負担が大きいかと思えますが、今後も、継続して開催して欲しいです。
- 今回、私の受講したコースでは事前よりメールを用いた打ち合わせがありました。あれは非常に有意義であり、是非とも続けていただきたいと思いました。また他のコースでも取り入れられると受講生として助かると思いました。1週間といいつつ、実質火曜日から金曜日昼ごろまでなので短いと思えます。初日に少しお話だけでも聞くことができれば嬉しかったです。例えば、初日の講義開始時間を少し早くし、講義後、各コースでお話を30分でもお聞きすることができればよかったです(一人で参加のため、すぐにでも知り合いになりたいという気持ちもありますが)。またPDFで概要などを見られるのは助かりました。ただ普段、脳に関して研究していな

い私としては少々難しく、もう少しわかりやすいと助かりました。

- 飛行機や宿泊の予約期間のため、参加の可否をもう少し早く決定してもらえれば助かります。
- トレーニングコースとして開催するのに5日間くらいが限度かとは思いますが、やはりもう少しじっくり時間をかけて学べると良いと思いました。例年同様の開催日程だと思いますが、せっかく遠くから皆さん来られて参加されているので、初日に行われている全体の講演や研究室紹介で1日を費やすよりは、実習の方に使って頂ければと思います。要望というわけではないですが、参加費や宿泊費は、個人負担するのと所属先から補助が出るのでは全く違います。企業から参加する場合は全額負担されることが多いと思いますが、学生の方は全額自己負担になる場合もあるかと思えます。学会参加等でも学生は参加費が安く設定してありますので、参加費等を学生とそれ以外で分けても良いのかなと思いました。あと、山手地区の方では生協の営業時間が短く、食堂も設置されていないのが少々不便ではないかと思いました（実習に参加する分には特に問題ありませんでした）。
- 大学生だけでなく、企業研究員も幅広く受け入れていただき感謝しています。今後も継続して受け入れて、実験手法など幅広く広めていっていただきたいと思います。
- 今回のコースは、完全に研究室紹介になっていたのもう少し自分たちで試してみるようなことが増えるとうれしいです。また、最終日の研究室紹介は、複数個所に行けるとよいと感じました。
- 受講生だけでなく、先生や学生の方にも名札を付けていただきたいです。興味深い研究をなさっている方については、フルネームを知りたいものです。
- 研究室見学を事前に申し込む形ではなく自由にいけるようにして欲しいです。
- トレーニングコースのポスターが素敵でした。私の大学ではそのポスターを見かけることができなかったのもう少しポスター貼り出しの依頼をすると、もっと知名度が上がると思えます。この先もずっとこのトレーニングコースを開催し続けて下さることを、要望させていただきます。とてもいい刺激になり、知識やテクニクも得ることができました。トレーニングコースにより、研究者を目指す有望な若者が増えると思えます！どうもありがとうございました。
- 仕事のため、全日程に参加することはできませんでしたが、大変勉強になりました。
- できれば年2回開催くらいにして、採用数を増やしていただけたらと思います。
- 他コースの教科書も見ることができたのが良かったです。また、各コース参加2回目以降のアドバンスコースもあればいいなと思います。この度は大変お世話になりました、有り難うございました。
- できるだけたくさんの方に経験していただきたいと思ひながら、私自身も今回参加できなかった他のコースも経験してみたいと感じています。むずかしいこととは思ひますが、ぜひ、また別のコースで参加させていただければと願ひしております。ぜひまたよろしく願ひいたします。
- 2年連続の参加が出来ないという噂を聞いたのですが…是非来年もまた参加させていただきたいです。
- 今年は特別かもしれませんが、暑かった。トレーニングコースの時期を9月などにずらせないでしょうか。
- ロッジへの宿泊が不可能となったため、旅費の負担が大きくなりました。経済的に厳しい状況となったので直前までキャンセルするかどうかで迷っていました。県外からの参加者に対して、もう少し、旅費低減などの面から援助（例えばロッジ枠の拡大など）があれば、躊躇なく参加できると思ひます。